

山階鳥研 見にレクチャー 12

2020年11月7日(土) 13:00～14:00

オンライン配信は JBF のサイトから

<http://www.birdfesta.net/jbf/online2020.html>

13:00～13:30

演者：油田照秋（ゆた・てるあき）

山階鳥研 保全研究室研究員

タイトル：

小笠原のアホウドリ これまでとこれから

小笠原諸島聳島では、2008年に世界で初めてアホウドリのヒナを移送、飼育し、巣立たせることにより新たな繁殖地を作る試みが始まりました。このプロジェクトが始まってから13年、本講演では、これまでの経緯とモニタリング調査から明らかになった聳島のアホウドリ達の動向や現在の状況などをお伝えします。

※山階鳥研のアホウドリのページもご覧ください。

http://www.yamashina.or.jp/hp/yomimono/albatross/ahou_mokuji.html



13:30～14:00

演者：齋藤武馬（さいとう・たけま）

山階鳥研 自然誌研究室研究員

タイトル：

日本の固有種が一種増える？！

ーオガサワラカワラヒワは別種なのか？

その分類と保全を考えるー

オガサワラカワラヒワは小笠原諸島にのみ繁殖するカワラヒワの亜種で、絶滅が危惧されるとも希少な鳥です。最近の研究から、同亜種はカワラヒワとは別種なのではないかという研究が発表されました。今回はその研究成果とともに、希少種としての保全についても紹介します。

※下記サイトもご覧ください。

オガサワラカワラヒワ ー絶滅阻止限界点への挑戦ー

<https://ogasawara-kawarahiwa.jimdofree.com/>



(写真撮影：川上和人)